

2025（令和7年度）

シラバス

第一学年



四日市市立保々中学校

第1学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	国語1（光村図書） 新しい書写1・2・3年用（東京書籍）
副教材	国語スイッチ（正進社） 毎日続ける10問漢字（浜島書店） すらすら基本文法（浜島書店）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、単元、技能等） ※技能テスト：書写作品、小テスト等 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・スピーチ	・テスト（定期、単元等） ・スピーチ ・成果物（レポート、作品等） ・パフォーマンス課題	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り ・パフォーマンス課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の話や友達の発言をしっかりと聞き、自分の考えと比較しながら考えましょう。 ・読み手を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・ワークシート等は、工夫して丁寧にまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。	
家 庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読みましょう。また、日々の漢字テストを大切にしていこう。 ・授業で学んだ内容を復習し、自分の考えをまとめておきましょう。 ・何故そうなるのかを常に意識してワーク等に取り組みましょう。 ・ワークやiプリ、ドリルパーク等を活用し、復習をすることで、学校で学んだことを定着させましょう。	

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標は主なものを明記しています。必要に応じて、他教材を活用したり順番を変更したりする場合もあります。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	朝のリレー 言葉に出会うために 野原はうたう 書き留める/言葉を調べる	・中学校での国語の学び方について理解する。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深める。 ・音読・発表、言葉の調べ方などを理解する。
5	はじまりの風 [聞く] 情報を聞き取り、要点を伝える 音声の仕組みや働き 話の構成を工夫しよう 漢字の組み立てと部首 ダイコンは大きな根？	・心情や行動を表す語句に注意して読む。 ・場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を捉える。 ・目的や場面に応じて話の的確に聞き取る手立てを学ぶ。 ・母音と子音、音の高さや強さについて理解する。 ・部首の意味や種類について理解する。 ・本文中で比較がどのように使われているかを確かめる。
6	ちょっと立ち止まって 情報整理のレッスン 比較・分類 指示する語句と接続する語句 空の詩三編	・筆者の主張と事例との関係を理解する。 ・段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。 ・説得力のある文章について理解する。 ・情報の聞き取り方や整理の仕方などを理解する。 ・情報を比較したり分類したりして整理する。 ・指示する語句と接続する語句の働きを整理し、文章の展開や構成をつかむ手掛かりになることを理解する。 ・詩を読み味わい、表現の効果について考える。
7	さまざまな表現技法 比喻で広がる言葉の世界 読書を楽しむ 本の中の中学生	・さまざまな表現技法を理解し、自分の表現の工夫に生かす。 ・比喻について理解し、言葉についての考えを深める。 ・各段落の役割や文章の内容を正確に捉える。 ・読書がもつ役割について理解する。
9	大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに 項目を立てて書こう [推敲] 読み手の立場に立つ 聞き上手になろう	・描写を基に登場人物の行動や心情の変化を捉える。 ・場面と描写を結びつけ、作品を解釈する。 ・相手や目的に合わせて情報を選び、整理し、伝える。 ・伝えたい事柄が明確に書き表されているか考える。 ・質問のしかたや書き方の工夫を知る。
10	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン 意見と根拠 根拠を明確にして書こう 書写	・筆者の意見と根拠、文章の構成や展開の効果について考える。 ・意見と根拠の関係について理解する。 ・根拠について考え、説得力のあるレポートを書く。 ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。
11	音読を楽しもう 大阿蘇 いろは歌 蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から 今に生きる言葉	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズムを通してその世界に親しんだり、登場人物の関係や思いに着目して読んだりする。 ・漢文を音読し、リズムや言い回しに親しむ。 ・故事成語について理解し、自分の生活と結び付けて考える。
12	「不便」の価値を見つめ直す 思考のレッスン 原因と結果	・必要な情報を取り出し、結び付けて要約するとともに、それに対する自分の考えをもつ。 ・文章の筋道を理解するために原因と結果の関係を捉える。
1	少年の日の思い出 二十歳になった日	・語句の意味に注意して読むとともに、場面の展開や表現の効果、語り手に着目して読み深める。 ・心情を表す語句や表現に着目して読み、語感を磨く。
2	構成や描写を工夫して書こう	・書く内容が明確になるように構成や描写を考えて書く。

	漢字の成り立ち	・漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を利用できるようになる。
3	一年間の学びを振り返ろう ぼくがここに	・一年間の学習の中から観点を決め、材料を集めて整理し、自分の考えを分かりやすく伝える。 ・詩に使われている表現技法と、その効果を確かめる。 ・詩の言葉や表現を読み味わい、作者の思いについて考える。

第1学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	社会科 中学生の地理 (帝国書院)、新しい社会 歴史 (東京書籍)、地図帳 (帝国書院)
副教材	『社会の自主学习 地理1』(新学社)、『地形図』(帝国書院) 『歴史の自主学习 歴史1』(新学社)、『歴史地図』(帝国書院)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【地理】 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【歴史】 我が国の中世までの歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	【地理】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【地理】 世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題 単純な技能をはかる実技テスト など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 振り返りシートなどの記述 授業中の発言 など	授業中の活動や発言 振り返りシートなどの記述の変容 パフォーマンス課題などの課題 (自己調整・粘り強さ) など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら、自分の考えを再構築しましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、地図帳や資料集を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家 庭	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、ドリルパーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	㊦【世界と日本の地域構成】 (地) 世界の姿	・世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりする。 ・国名や国旗、国境線の特色から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察し、表現する。 ・地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとする。
	(地) 日本の姿	・世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりする。 ・世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究しようとする。
5	㊦【世界のさまざまな地域】 (地) 人々の生活と環境	・世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件に関連づけて理解する。 ・世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとする。
6	㊦【世界の諸地域】 (地) アジア州 (地) ヨーロッパ州	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解する。
7	(地) アフリカ州	・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題

9	(地) 北アメリカ州 (地) 南アメリカ州	の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
10	(地) オセアニア州 ※世界の各国・諸地域の情勢によって、各州の学習順が入れかわることがあります。 ㊦【日本のさまざまな地域】 (地) 地域調査のしかた	・地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解する。 ・対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取りあげ、それらを多面的・多角的に調査、考察し、表現する。 ・対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとする。
11	㊦【歴史へのとびら】 (歴) 歴史をとらえる見方・考え方 (歴) 身近な地域の歴史 ㊦【古代までの日本】 (歴) 世界の古代文明と宗教のおこり	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 ・比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。 ・古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこりなど、人類が生み出していったものを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の古代文明や宗教など、人類が様々なものを生み出していったことについて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
12	(歴) 日本列島の誕生と大陸との交流 (歴) 古代国家の歩みと東アジア世界	・日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。 ・農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本列島における国家形成について、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとする。 ・聖徳太子らの政治や大化の改新、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら律令国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。 ・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解する。 ・東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の政治の変化や、古代の文化と東アジアとを関連付けながら、どのように律令国家が成立したかを多面的・

		多角的に考察し、表現する。 ・古代の政治の変化、古代の文化と東アジアとの関わりからどのように律令国家が成立したのかについて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
1	㊦ 【中世の日本】 (歴) 武士の政権と成立	・鎌倉幕府の成立などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解する。 ・武士の政治への進出と展開、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・武家政治の成立について、武士が社会を動かすほどの力をもつことになった理由とそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
2	(歴) ユーラシアの動きと武士の政治の展開	
3		

第1学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる数学1（啓林館）
副教材	数学リピート学習1（正進社）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。
・定期、小テスト等 ・パフォーマンスレポート ・授業の取組の様子や発言内容	・定期、小テスト等 ・パフォーマンスレポート ・授業の取組の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・定期、小テスト等 ・授業の取組の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）

※「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の指導を踏まえ、各単元全体を通して、

- ・学習内容の必要性和意味を考えようとしている。
 - ・学習内容について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
 - ・学習内容を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。

の観点で評価する。

3 学習についてのアドバイス

学 校	・これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 ・自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えるようにしましょう。 ・他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 ・ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
家 庭	・分からない問題や間違えた問題は、解答や教科書を参考にしながら、粘り強く取り組みましょう。 ・自習教材として「学んで E-net!」「ドリルパーク」があります。復習に活用して、しっかりと練習しましょう。 ・定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・正の数・負の数 1 0より小さい数 2 正の数・負の数で量を表すこと 3 絶対値と数の大小	(知) 正の数・負の数の必要性和意味を理解し、数直線上に表したり、読み取ったりすることができる。 (思) 反対の性質をもつ量や、ある基準を決めたときの量を表すときの方法を考察し表現することができる。
	・正の数・負の数の計算 1 正の数・負の数の加法、減法 2 正の数・負の数の乗法、除法 3 いろいろな計算 4 数の世界のひろがり	(知) 正の数・負の数の計算の意味を理解し、その計算ができる。 (思) 算数で学習した数の計算と関連付けて、正の数・負の数の計算の方法を考察し表現することができる。
5	・正の数・負の数の利用 1 正の数・負の数の利用	(知) 身近な事象を負の数を用いて表現し、処理することができる。 (思) 身近な事象を数学的に捉え、正の数・負の数を用いて考察し表現することができる。
6	・文字を使った式 1 数量を文字で表すこと 2 文字式の表し方 3 式の値	(知) 文字を使うことの必要性和意味を理解し、文字式の約束に従い数量を文字式に表したり、文字式から数量を読み取ったりすることができる。 ・文字式に数を代入して、式の値を求めることができる。 (思) 文字式での数量の関係の表し方や、式が何を意味しているのかについて考察し表現することができる。また、式の値を求める意味を、具体的な場面と関連づけて考察し表現することができる。
	・文字式の計算 1 文字式の加法、減法 2 文字式と数の乗法、除法 3 関係を表す式	(知) 一次式の意味を理解し、計算ができる。また、数量の関係を等式や不等号で表したり、意味を読み取ったりすることができる。 (思) 一次式の計算の方法を考察し表現することができる。また、文字式の数量関係の表し方や、式の意味を考察し表現することができる。
9	・方程式 1 方程式とその解 2 方程式の解き方 3 比と比例式	(知) 方程式の必要性、文字や解の意味を理解し、文字に数を代入し、その数が解であるかを確認することができる。また、移項の意味を理解し、方程式を解く方法を理解することができる。 (思) 等式の性質をもとにして、方程式を解く方法を考察し表現することができる。また、数や文字式の計算と方程式を解く方法の違いについて考察し表現することができる。
	・方程式の利用	(知) 事象の中の数量やその関係に着目して、方程式や比例式をつくり、

10	1 方程式の利用 2 比例式の利用	その方程式や比例式を解くことができる。 (思) 方程式や比例式を具体的な場面で活用し、求めた解や解決の方法を振り返り、それが適切かどうかを考察し表現することができる。
	・関数 1 関数	(知) 関数の意味について理解し、具体的な事象の中から、ともなって変わる数量を見つけることができる。 (思) 表やグラフを用いて、変化の様子を調べることができる。
	・比例 1 比例の式 2 座標 3 比例のグラフ	(知) 具体的な事象から、比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。 (思) 具体的な事象から、比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を用いて表現することができる。
	・反比例 1 反比例の式 2 反比例のグラフ	(知) 具体的な事象から、反比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。 (思) 具体的な事象から、反比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を用いて表現することができる。
11	・比例、反比例の利用 1 比例、反比例の利用	(知) 比例・反比例の関係を利用して、身のまわりの問題を、文字を使った式を使って表すことができる。 (思) 比例・反比例としてとらえられる二つの数量について、表、式、グラフを用いて調べ、それらの変化と対応の特徴を見いだすことができる。
	・直線と図形 1 直線と図形	(知) 直線や角などについて、用語・記号を使って表すことができる。 (思) 平面における2直線の位置関係を見だし、表現することができる。
	・移動と作図 1 図形の移動 2 基本の作図 3 図形の移動と基本の作図の利用	(知) 図形の移動について理解し具体的な場面で、図形の移動と基本的な作図ができる。 (思) 移動の前後の関係から性質や関係を見いだすことができ、基本的な作図の方法を考察し、統合的にとらえ、表現することができる。
12	・円とおうぎ形 1 円とおうぎ形の性質 2 円とおうぎ形の計量	(知) 弧や弦などの円に関する用語を理解し、円の接線を作図することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 (思) 円の接線の性質から円の接線の作図方法を考察し表現することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積、中心角の求め方について考察し表現することができる。
1	・立体と空間図形 1 いろいろな立体 2 空間内の平面と直線 3 立体の構成	(知) 角錐、円錐や多面体の意味と、見取り図、展開図、投影図について理解し、どのような立体を表しているのかを読み取ることができる。 ・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・平面図形や線分の運動によって、どのような立体が構成されるかや、回転体の意味を理解している。 (思) 形や面に着目し、立体の特徴と、見取り図、展開図、投影図を用いて立体の性質を見だし、考察し表現することができる。 ・空間における直線や平面の位置関係について考察し表現することができる。 ・柱体、錐体、球などの立体を、平面図形や線分の運動によって構成されていると捉えることができる。
2	・立体の体積と表面積 1 立体の体積 2 立体の表面積	(知) 立体の体積と表面積の求め方を理解し、求めることができる。 (思) 立体の体積と表面積の求め方について考察し表現することができる。
	・ヒストグラムと相対度数	(知) 目的に応じた資料を収集し、整理することができる。

3	1 データを活用して、問題を解決しよう 2 整理されたデータから読み取ろう	(思) 整理した資料を読み取り、物事を判断し、説明をすることができる。 ・度数分布表やヒストグラムなどの必要性和意味を理解し、資料の傾向をとらえ、利用することができる。
	・データにもとづく確率 1 相対度数と確率	(知) 実験などを通して、確率の意味を理解し、身の回りの事象についての確率を求めることができる。 (思) 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。

第1学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス 1 (啓林館)
副教材	理科の学習

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・ 定期・小テスト等 ・ パフォーマンス (技能) テスト ・ 発言内容 ・ 指導に対する成果物 (ノートやレポートの記述内容)	・ 定期・小テスト等 ・ 発言内容 ・ 指導に対する成果物 (ノートやレポートの記述内容)	・ 授業の様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物 (レポート、作品等) ・ 振り返り (自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学 校	・ 授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・ これまでに学習した内容をいかして、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・ 理科用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・ グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・ 観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・ 学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
家 庭	・ 学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・ 継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・ 学校で学んだことをワークやi プリ等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	自然の中にあふれる生命	・校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを見いだして理解する。 ・観察器具の操作、観察記録のしかたなどの技能を身に付ける。 ・いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとにして分類できることを理解する。 ・分類のしかたの基礎を身に付けること。 ・身近な生物を観察することで、生物に対する興味・関心を高める。
5	【生命】 いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	・身近な植物の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだす。 ・植物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点に基づいて植物が分類できることを見いだして理解する。 ・植物に対する興味・関心をもち、植物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える。
6		・身近な動物の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだす。 ・動物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点に基づいて動物が分類できることを見いだして理解する。 ・動物に対する興味・関心を高め、動物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える。
7	【物質】 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質の姿とその変化	・身のまわりの物質の性質をさまざまな方法で調べる。 ・物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解する。 ・ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身に付ける。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を行う。
9		・気体の種類による特性を理解する。 ・気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身に付ける。 ・物質が水に溶ける際の水溶液の均一性を、粒子のモデルで理解する。 ・水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解する。 ・物質の状態変化についての観察・実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。 ・物質の融点や沸点を境に状態が変化することを理解する。 ・混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解する。

10	【エネルギー】 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	・光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。 ・凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きを見いだす。 ・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じること、音は波として空気中を約 340m/s の速さで伝わること、および音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。 ・物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変わったりすることを見いだす。 ・力は大きさと向きによって表されることを理解する。 ・2力のつり合いの実験を行い、1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見いだし理解する。
11		
12		
1	【地球】 活きている地球 1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地	・身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解する。 ・観察器具の基本的な扱い方などを身に付ける。 ・地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解し、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。 ・地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解する。 ・さまざまな火山の活動などを調べ、それらの様子はマグマの性質が深く関係していることを考察するとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。 ・地層の重なり方や広がり方の規則性、構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測する。 ・地層のでき方を理解する。 ・プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的にとらえ、大地からの恵みや災害について理解する。
2		
3		

第1学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を創意工夫することや音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
教科書	中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)
副教材等	コーラス フェスティバル(正進社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士との関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト(演奏・リズム打ち等) ・ワークシート等への記述内容 ・鑑賞レポート など		

3 学習についてのアドバイス

学 校	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
家 庭	・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けましょう。 ・興味をもった曲の作曲家、音楽の特徴やその背景となる文化や歴史を自分で調べてみましょう。

4 題材・目標等について

月	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	思いをこめて合唱しよう	・思いを込めて明るい声で合唱しよう。	その先へ My Voice!
	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・作者のメッセージを受け止め、思いを込めて合唱しよう。	夢の世界を
	曲想を感じ取って、表現を工夫しよう	・曲想を感じ取って、表情豊かに歌おう。	保々中学校校歌
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	・音楽の特徴に注目し、情景を思い浮かべながら鑑賞しよう。	春
	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	・イメージをもたらし音楽の秘密を探ろう。 ・構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	イメージと音楽 指揮をしてみよう！ Let's Create!
2 学 期	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・パートの役割を感じ取り、曲想を生かして合唱しよう。	合唱コンクールクラス曲
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って鑑賞しよう。	魔王
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	・音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。	リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ My Melody
	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	・人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。 ・アジア各地の音楽を聴こう。 ・声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。	日本の民謡 生活や社会の中の音楽 アジアの諸民族の音楽 ソーラン節
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 ・情景を思い浮かべながら、思いを込めて歌おう。	浜辺の歌（共通教材） 赤とんぼ（共通教材）
	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	・日本に古くから伝わる合奏を鑑賞しよう。	雅楽「平調 越天楽」
3 学 期	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	・日本に古くから伝わる箏の音楽を鑑賞しよう。 ・楽器の特徴を知り、曲にふさわしい音色や奏法で演奏しよう。	箏曲「六段の調」 さくらさくら（箏）
	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。	混声3部合唱「マイバラード」
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	・曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌おう。	卒業式 式歌「旅立ちの日に」 国歌「君が代」・校歌

第1学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術1(光村図書)
副教材	感じる表す美術(浜島書店)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品

3 学習についてのアドバイス

学校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題(自分の表したいこと)をもって制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを友達とじっくり話し合ひましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家庭	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いろいろなものをよく見ましょう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。

4 主な題材・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	○オリエンテーション ・うつくしい！ ・うつくしい！を探してみよう ・美術の扉を開こう ○見つめ、感じ取り、描く（絵画） ・鉛筆で描く ○ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場（鑑賞）	・美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、1年生で学ぶことや、3年間の学習の見通しをもつ。 身近なものや愛着のあるものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。 ・基本の形や特徴を捉えて描き、明暗・立体感を表現する。 ・身近なものや愛着のあるものをよく見たり、触ったりして特徴を捉え、主題を生み出す。 ・主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ・鉛筆の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 構図、色彩や光、人物の表情や視線などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。 ・作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友達と意見を述べ合う
2 学 期	○暮らしをいろどる文様（デザイン） ○風神・雷神像と風神雷神図屏風（鑑賞）	目的や条件などを基に、自然物や人工物などから文様の形や色彩、構成を工夫してデザインする。 ・目的や条件を基に、自然物や人工物などの形や色彩の特徴の美しさから主題を生み出す。 ・スケッチなどにより形や色彩の特徴を捉え、単純化や強調をするなどして文様として効果的な構成を考える。 ・色相環など、色の基本や仕組みを理解する。 ・効果を考えながら彩色する。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 屏風の構図、彫刻の表情や動きなどから作品の特徴を捉え、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。 ・作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友達と意見を述べ合う。
3 学 期	○文字で楽しく伝える（デザイン） ○火焰型土器（鑑賞）	イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。 ・レタリングの基本となる明朝体やゴシック体の描き方を理解する。 ・身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 ・文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考えてデザインする。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について考えを深める。 形や模様、作風などに着目し、原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人々の願いや作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。 ・作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友達と意見を述べ合う。

第1学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。 【体育分野】 (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 【保健分野】 (1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
教科書	最新 中学校保健体育（大修館書店）
副教材等	ビジュアル新しい体育実技（東京書籍）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している。 - 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解している。 - 各領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	- 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 - 個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	- 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 - 自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
- 授業の様子や発言内容 - 振り返りカードや授業プリント等の記述 - 定期テスト、パフォーマンス課題等	- 授業の様子や発言内容 - 振り返りカードや授業プリント等の記述 - パフォーマンス課題	- 授業の様子や発言内容 - 振り返りカードや授業プリント等の記述 - パフォーマンス課題

3 学習についてのアドバイス

学校	- 学習課題等を捉え、自分なりの課題をもち、その解決に向け工夫して取り組みましょう。 - 先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 - どの学習活動も粘り強く取り組みましょう。 - 学習カードなどは、この時間学んだことや次の時間の課題などを整理するようにしましょう。 - ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
家庭	- 授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 - 授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
通 年	体づくり運動	・心や体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合うことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動への取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間が考えたことを伝えることができる。 ・運動に積極的に取り組み、仲間の学習を援助しようと活動できる。 ・健康・安全に気を配ることができる。
1 学 期	球技（ネット型） ・バドミントン	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝えることができる。 ・積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、仲間のプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助すること、健康・安全に気を配ることができる。
	陸上競技 ・ハードル	・【ハードル走】リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝えることができる。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとする、健康・安全に気を配ることができる。
	器械運動 ・マット運動	・【マット運動】回転系や功技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行ったり、それらを組み合わせたりすることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝えることができる。 ・積極的に取り組み、よい演技を認めること、仲間を援助すること、仲間の課題に応じた課題や挑戦を認めること、健康・安全に気を配ることができる。
	健康の成り立ちと疾病の発生要因・生活習慣と健康	・健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について理解できる。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができる。
	体育理論	・運動やスポーツが多様であることについて、理解できる。 ・自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 ・運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができる。
2 学 期	水泳	・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝えることができる。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどに加え、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ることができる。
	陸上競技 ・短距離・リレー	・【短距離走・リレー】滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとする、健康・安全に気を配ることができる。

	球技（ベースボール型） ・ベースボールファイブ	- 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 - 自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを伝えることができる。 - 自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、仲間のプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとする、健康・安全に気を配ることができる。
	心身の機能の発達	- 心身の機能について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすることができる。 - 課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 - 課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができる。
	球技（ゴール型） ・サッカー	- ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 - 自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝えることができる。 - 積極的に取り組み、フェアプレイを守ろうとする、作戦などについての話し合いに参加しようとする、仲間のプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助すること、健康・安全に気を配ることができる。
3 学 期	武道	【剣道】相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 - 自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、考えたことを伝えることができる。 - 積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする、分担した役割を果たそうとする、仲間の課題や挑戦を認めようとする、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができる。
	心の健康	- 心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすることができる。 - 課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 - 課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができる。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。

第1学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）
副教材	技術・家庭総合ノート（技術分野）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解していると ともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・定期、小テスト等 ・ノート、ワークシートへの記述 ・授業の様子や発言内容	・定期、小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノート、ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。 ・さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・特別教室（技術室・PC室）を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家 庭	・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

※単元等や目標については、主なものを明記しています。また、必要に応じて教材を他教材に変更したり、学習の順番を変更したりする場合もあります。

4 主な単元・教材及び目標

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4 5	・情報についての基礎的・基本的な知識・技能	・情報の表現、記録、計算、通信などについての科学的な原理・法則の理解・情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティなどに関わる基礎的な技術の仕組みを理解することができる。
6 7	・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解することができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等を行うことができる。
8 9	・計測・制御のプログラミングによる問題解決 ・社会の発展と情報の技術	・情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだし課題を設定し解決することができる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。

第1学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
副教材	技術・家庭ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等		主な学習目標	
2学期	1編・未来につながる家庭分野	1章. 家庭分野ガイダンス	・ワークシートや話し合いによって、これまでの自分を振り返る。 ・家庭科の学習が生活の自立や持続可能な社会の形成につながることに気づく。	
		2章. 私たちの家族と家庭生活	・自分の成長と、家族や地域の人びとのかかわりと、自分自身の理解を深める。 ・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する。	
	3編・私たちの衣生活	① 衣服の役割	・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる。	
		②私らしさと T.P.O.	・個性を生かした服装について知り、自分らしい着方を考える。	
		② 日本の衣服の文化	・日本の衣服の文化を理解し、継承する大切さに築き、和服と洋服の構成や着方について理解する。	
		④必要な衣服を選択しよう	・手持ちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否、手入れの方法や価格など、既制服の適切な選択方法を知る。	
		⑤衣服の手入れ	・衣服の洗濯や補修などの手入れの必要性を理解し、衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を知る。	
		⑥よりよい衣生活を目指して	・よりよい衣生活を目指して、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。	
		⑦生活を豊かにするために	・生活の中で、あるといいなと思うものを考える。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しを持つ。 ・生活を豊かにする具体的な物を製作する。	
	3学期	4編・私たちの住生活	①住まいの役割と住まい方を考えよう	・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。
			②住まいの安全について考えよう	・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。
			③災害に備えた住まい方について考えよう	・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。
			④健康で快適な室内環境を工夫しよう	・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。
			⑤持続可能な住生活	・家族が安全で快適に住むための室内環境について課題を見つけ、改善方法を考える

第1学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 1
副教材	新英語のワーク（明治図書）、Start Up! penmanship（浜島書店）

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと (やり取り)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、正確に書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・ 定期・単元テスト等 ・ パフォーマンステスト ・ 授業様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・ 定期・単元テスト等 ・ パフォーマンステスト ・ 授業様子や発言内容 ・ 指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・ 授業の様子や発言内容 ・ パフォーマンステスト ・ 指導に対する成果物（ノート、ワークシート等） ・ 振り返り（自己評価、相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・ 間違えることを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・ 音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・ 授業だけでなく、授業以外の時間も積極的にALTの先生に話しかけましょう。 ・ 単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
--------	--

家庭	・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。
	・ワーク・教科書などの QR コードを使い、音読練習を繰り返しましょう。
	・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。
	・予習として、デジタル教科書を使って単語練習をしておきましょう。
	・ICT 教材を活用し、授業の予習・復習に活かしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	3 学 期 制	単元・教材名	到達目標・活動目標 (重点化領域)	
4 月	1 学期	Let' s Be Friends!	① [L] 友達のことを知ろう	
			② [SI] [L] 言葉で人とつながろう	
			③ [L] [SI] 誕生日や好きなものをたずね合おう	
			④ [L] [SP] 春休みの出来事を発表しよう	
			⑤ [L] [SI] 中学校でしたいことを伝え合おう	
			⑥ [SI] 数字のゲームで仲よくなろう	
			⑦ [SP] [L] 自己紹介をしよう	
			⑧ [L] [R] [W] アルファベットを確かめよう	
		Sounds and Letters	[L] [R] [W] 文字を正しく読むことができる	
4 ～ 5 月	2 学期	Unit 1 Here We Go!	[L] 会話から、話し手についての情報を聞き取ることができる [W] 自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる	
		Unit 2 School Activities	[L] 会話から、興味のあることなどについての質問を聞き取ることができる [SI] 興味のあることなどについてたずねることができる	
6 月		World Tour 1 世界の中学生①	世界の中学生の学校生活を知ろう	
		7 月	Unit 3 Enjoy the Summer	[L] 会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取ることができる [SP] 夏休みにすることなどについて、その場で話すことができる
			Let' s Read 1 What Am I?	[R] 説明文から、クイズの解答に必要な情報を読み取ることができる
			Active Grammar 1	自分と相手のことを伝える言い方を整理しよう
		You Can Do It! 1 友達の新しい一面を見つけよう	[L] [SI] 自分のことを伝え、相手のことをよく知ることができる	
9 月		3 学期	Unit 4 Our New Friend	[L] 人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取ることができる [SP] 伝えたい情報を整理して、人物を紹介することができる

		Daily Life 1 落とし物	[SI] 落とし物の持ち主を探すやり取りをすることができる
10月		Active Grammar 2	人や物事の代わりをする言葉を整理しよう
		Unit 5 Hi, David!	[R] チャットのやり取りから、必要な情報を読み取ることができる [SI] 観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出すことができる
11月		Daily Life 2 注文	[SI] 買い物や注文のやり取りをすることができる
		Unit 6 Cheer Up, Tina	[R] 身近な人を紹介する文章を読み、おおまかな内容を捉えることができる [W] 友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書くことができる
		Daily Life 3 バス停	[SI] 時刻についてのやり取りをすることができる
12月		Active Grammar 3	自分と相手以外のことを伝える言い方を整理しよう
		Daily Life 4 道案内	[SI] 行き方をたずねたり伝えたりすることができる
		Active Grammar 4	yes や no では答えられないことのたずね方を整理しよう
		You Can Do It! 2 ゲストの魅力を伝える MC になろう	[R] [W] 身近な人のことを紹介することができる
1月	3学期	Unit 7 The New Year in Japan	[R] 出来事を伝えるはがきを読み、おおまかな内容を捉えることができる [W] 出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書くことができる
2月		Active Grammar 5	過去の出来事や状態などを伝える言い方を整理しよう
		Daily Life 5 イベントの案内	[R] イベントの案内から、必要な情報を読み取ることができる
		Unit 8 Getting Ready for the Party	[L] 場面の様子の説明を聞き、おおまかな内容を捉えることができる [SP] 場面の様子が伝わるように、起こっていることを説明することができる
3月		World Tour 2 世界の中学生②	世界の中学生の1日を知ろう
		Active Grammar 6	している最中のこと・している最中だったことを伝える言い方を整理しよう
		Let's Read 2 The Lion and the Mouse	[R] 物語を読んで、あらすじを捉えることができる
		You Can Do It! 3 動画で学校の魅力を紹介しよう	[L] [SP] イベントや学校を紹介することができる
		Let's Read More My Japanese Lessons	[R] レポートを読んで、おおまかな内容を捉えることができる